

English follows Japanese

世代に受け継がれる祝福 創世記 26章12-33節

二週間前に創世記の学びに戻り、主要な焦点であるヤコブの生涯に私たちを導くイサクの生涯を見始めました。イサクの生涯では、家族内で信仰を一つの世代から次に受け継がせるとき何が起こるかを理解する事ができます。それと同時に罪も一つの世代から次に受け継がせてしまうのです。今日、イサクについての創世記の最後の物語に来ます。これから先、創世記はすべて実際はヤコブを中心に展開します。先週見た中で、神がアブラハムからイサクを通してこの家族に世代に受け継がれていく祝福を与えられた部分を今日この聖句とつないで掘り下げるために取り組みませんでした。私たちの今日の聖書箇所は創世記26章12-33節です。この祝福が現れる兆候を見る12-14節から読み始めましょう。 創世記 26章12~33節 12. イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。主は彼を祝福された。 13. こうして、この人は富み、ますます栄えて、非常に裕福になった。 14. 彼が羊の群れや牛の群れ、それに多くのしもべを持つようになったので、ペリシテ人は彼をねたんだ。

祈りましょう。

この聖句がどのように始まるかを注目してください。`イサクはその地に種を蒔き`。その地とは、どこの事でしょうか。この26章の1節で、こう言っています。創世記 26章1節 さて、アブラハムの時代にあった先の飢饉とは別に、この国にまた飢饉が起こった。それでイサクは、ゲラルのペリシテ人の王アビメレクのもとへ行った。

この聖句の3節で、神は彼にその地域を離れないよう告げました。しかし、あなたはこの地に寄留しなさい。神は彼にその国で祖国に住むのではなく、寄留者として住むように言われました。祖国を離れ、外国に住む多くの外国人として暮らす人たちの地位や立場を考えてください。

その中の多くは難民です。彼らの生活で祝福されていると呼べる部分は多くありません。しかし、イサクの居場所を見ると祝福は私たちの状況とは無関係であると言うことをすぐに見ることができます。祝福は常に金銭的なことではないかもしれませんが、しかし、ここでは祝福は明らかに物質的でした。さて、金銭的祝福よりもはるかに素晴らしい祝福がイサクに約束されています。イサクが暮らしていた土地を実際統治していた彼の周りの人たちに与えられた神の祝福のしるしが彼に与えられた、彼のための神の富でした。

気づいていただきたいのは、聖書はこの祝福が神から来ると明らかにしていることです。数週間前に、与えることについての説教で指摘したように、信者として、私たちの持つどんなレベルの金銭的恵みも神御自身からのものであることを認識すべきです。イサクは彼自身が有能な商売人であると思ってしまってもおかしくありません。彼の努力が彼の財を成しました。しかし、神はそれが神から来ている事を私たちが確実に知るようになさり、その次に起こる事を神はお膳立てされます。神はただの移民を、寄留者をイサクが住んでいた地の統治者に妬ませたのです。この妬みは対立に発展します。15-22節を読んでいきましょう。 15. それでペリシテ人は、イサクの父アブラハムの時代に父のしもべたちが掘った井戸を、すべてふさいで土で満たした。 16. アビメレクはイサクに言った。「さあ、われわれのところから出て行ってほしい。われわれより、はるかに強くなったから。」 17. イサクはそこを去り、ゲラルの谷間に天幕を張って、そこに住んだ。 18. イサクは、彼の父アブラハムの時代に掘られて、アブラハムの死後にペリシテ人がふさいだ井戸を掘り返した。イサクは、それらに父が付けていた名と同じ名をつけた。 19. イサクのしもべたちがその谷間を掘っているとき、そこに湧き水の井戸を見つけた。 20. ゲラルの羊飼いたちは「この水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼いたちと争った。それで、イサクはその井戸の名をエセクと呼んだ。彼らがイサクと争ったからである。 21. しもべたちは、もう一つの井戸を掘った。それについても彼らが争ったので、その名をシテナと呼んだ。 22. イサクはそこから移って、もう一つの井戸を掘った。その井戸については争いがなかったもので、その名をシホボテと呼んだ。そして彼は言った。「今や、主は私たちに広い所を与えて、この地で私たちが増えるようにしてくださった。」

この物語の核心は神の祝福が理想的ではない状況、対立の中で与えられたことを示すようです。イサクの他の物語がすべてそうであるように、彼の父アブラハムの生涯とに意図的な繋がりがあります。イサクがこのペリシテ人との対立に直面したように、アブラハムは彼の牧者と彼の甥の牧者たちの間の争いに創世記13章で直面しました。

創世記13章6～7節 6. その地は、彼らが一緒に住むのに十分ではなかった。所有するものが多すぎて、一緒に住めなかったのである。7. そのため、争いが、アブラムの家畜の牧者たちと、ロトの家畜の牧者たちの間に起こった。そのころ、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。この争いによって、アブラハムは彼の甥に最高の牧草地を譲り他に移動しました。それでも、神は彼を祝福されました。イサクも同様に現地の羊飼いたちが彼らの掘った井戸を奪われたため、そこから離れ、新しい井戸を掘らなければなりません。私の反応は皆さんの多くと同じように、これらの間違いなく手で掘ることはとても大変な井戸を堅持するために戦ったでしょう。しかし、イサクの争いに対する反応は彼の父アブラハムがロトに最高の土地を与えた時の反応に沿ったものでした。イエスが山上の説教で神の民が神の民としての彼らの地位を反映するようどう王国での生活を生きるかについて語った事の旧約聖書の例です。マタイの福音書 5章38～40節 38. 『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。39. しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つ者には左の頬も向けなさい。40. あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着も取らせなさい。

神の経済では、あなたになされた悪事に対して善行で対応することが祝福への道です。父と息子両人とも同じようにし、二人ともに神の祝福を与えられました。あなたはあなたの生活の中でまったく神の恵みが感じられず、世界があなたに敵対してると思ったことが何回もありませんか。それは、私たちが攻撃してくる人たちに対して、神が私たちに望まれるようにその人たちに対応せず、争いをさらに追いつづけるからではないでしょうか。

対立が終わりを迎える時、イサクは彼の人生での神の祝福をさらに強固なものとする体験をします。23-25節 23. 彼はそこからベエル・シェバに上った。24. 主はその夜、彼に現れて言われた。「わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加える。わたしのしもべアブラハムのゆえに。」25. イサクはそこに祭壇を築き、主の御名を呼び求めた。彼はそこに天幕を張り、イサクのしもべたちは、そこに井戸を掘った。聖書はこれらの出来事を実に単刀直入に伝えています。つまり、この争いに取り組んでいる時、イサクが何を考えていたか私たちには知る由がないということです。イサクはその争いに終止符を打たれた神を称賛しているので、私たちは彼の言動に彼の信仰を常に見ることが出来ます。しかし、私はイサクが掘ったばかりの井戸を奪われた時、彼が神の祝福はまだ自分の人生に留まっているのだろうかと言う戸惑いは全くなかったのか思いめぐらせています。私には幾度となく私は神の御心に沿って望まれることをしているのか自問したことがあります。私は神の召しに応えようとして行っていることで神の祝福を本当に体験しているのでしょうか。もしかしたら、あなたも同じようのご経験があるかもしれません。ですから、きっと神はイサクの前に個人的に現れアブラハムと結んだ契約と同じ祝福を受け継がせることによる神の彼の祝福を再確認されたのでしょうか。先週、私はこのアブラハムからイサクへ受け継がれたの神の約束の前のバージョンに戻ると言いました。先週読んだ、ここ創世記26章の3-4節を覚えていますか。私たちは元々子の祝福はイサクがペリシテ人のこの土地で寄留者として住むように言われた時に見ました。創世記 26章3～4節 3. あなたはこの地に寄留しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福する。あなたとあなたの子孫に、わたしがこれらの国々をすべて与える。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たす。4. そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与える。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。

これまでに何度も神が私たちに取り組むように召された難題に向かう時、神の恵みの約束の保証を必要とすることがあります。イサクの場合、彼はペリシテ人の地に寄留者として住み、彼らと

の対立に取り組むよう召されました。私たちの場合なら、きっと何か別の事で、嫌な気の進まないことで、私たちの人生のための神の召しと御計画に疑問を持たせるでしょう。神はきっとその時は、イサクにそうなさったように、私たちに臨まれ、御自身の祝福を確信させてくださるでしょう。ただ、イサクが聞いたような耳で聞こえる御声ではなく、聖霊による私たちへの確信を持たせる言葉であり、多くの場合は神の御言葉である聖書を通して語られるでしょう。ですから、神の御言葉に留まり、聖書の言葉について瞑想することは非常に重要です。聖霊なる神は、神の御言葉に私たちに、正しく御声を聴かせてくれ、私たちの生活に生かしてくれます。

コリント人への手紙 第一 2章12～13節はこの重要な真理を示してくれます。 12. しかし私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神からの霊を受けました。それで私たちは、神が私たちに恵みとして与えてくださったものを知るのです。 13. それについて語るのに、私たちは人間の知恵によって教えられたことばではなく、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばによって御霊のことを説明するのです。

あなたは、主の約束である、主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。(申命記31章8節)を何度繰り返し聞かなければいけないのでしょうか。聖書全体を通して聖霊は約束と慰めと励ましの言葉を用いられて、あなたの生涯のための祝福と目的を確信させてくれます。そして、まるで神御自身の保証が不十分であるかのように、神はイサクの井戸を掘る努力を無にしようとしていた人たちの態度を一変させました。

この聖書箇所最後の聖句26-33節を見てください。

26. さて、アビメレクがゲラルからイサクのところにやって来た。友人のアフザテと、その軍の長ピコルも一緒であった。 27. イサクは彼らに言った。「なぜ、あなたがたは私のところに来たのですか。私を憎んで、自分たちのところから私を追い出したのに。」 28. 彼らは言った。「私たちは、主があなたとともにおられることを確かに見ました。ですから、こう言います。どうか私たちの間で、私たちとあなたとの間で、誓いを立ててください。あなたと盟約を結びたいのです。 29. 私たちがあなたに手出しをせず、ただ良いことだけをして、平和のうちにあなたを送り出したように、あなたも私たちに害を加えないという盟約です。あなたは今、主に祝福されています。」 30. そこでイサクは彼らのために宴会を催し、食べたり飲んだりした。 31. 翌朝早く、両者は互いに誓いを交わした。イサクは彼らを送り出し、彼らは平和のうちに彼のところから去って行った。 32. ちょうどその日、イサクのしもべたちが帰って来て、自分たちが掘り当てた井戸のことについて告げた。「私どもは水を見つけました。」 33. そこでイサクは、その井戸をシブアと呼んだ。それゆえ、その町の名は、今日に至るまで、ベエル・シェバという。

イサクの逆境に対する反応、彼が直面する困難な状況への反応は実際彼により多くの祝福をもたらし彼の隣人との間の平和を回復させました。しかし、神を信じていればいつも必ずこのような最良の結果になると言う考えを持ってはいけません。神はここでとても特別な方法でその地の人々が彼を好意的に見るように御手を働かされました。しかし、多くの場合、私たちの人生の神の祝福は私たちが他の人たちのために祝福となることです。イサクも同様でした。彼が彼の妻に関して欺き、彼から努力して掘った井戸を力づくで奪った隣人たちが彼に平和のための祝福を依頼してきたのです。

そして、最後の神の祝福の確認を見ます。会合が終わると、僕たちがイサクに来て、彼らが最後の井戸で水が湧き出るのを確認した事を告げたのです。さて、これもアブラハムとイサクの間の類似した出来事の一つです。創世記21章30-31節で、アブラハムはその街をベエル・シェバとすでに名付け、アビメレク王にもそう伝えました。

創世記 21章30～31節 30. アブラハムは言った。「私がこの井戸を掘ったという証拠になるように、七匹の雌の子羊を私の手から受け取ってください。」 31. それゆえ、その場所はベエル・シェバと呼ばれた。彼ら二人がそこで誓ったからである。

まったく同じことがアブラハムにも起こっていたのです。アビメレクの僕たちが井戸を奪ったのです。アビメレクとアブラハムが話し合いを持ち、平和が取り戻され、互いに平和を誓う宣誓が立てられました。ベエル・シェバの意味は七と誓いです。数字の七はアブラハムの差出した七匹

の羊で明らかですが、イサクの場合は、はっきりしません。しかし、明白なことは神の祝福を示すことと、アブラハムとイサクのそれぞれの生涯の類似点を示すことです。このアブラハムとイサクの生涯の繰り返しは世代を越えて人生のパターンや模様は広がり及ぶことを示しています。このイサクの生涯に焦点を置いた三つの説教を終えるにあたり、私たちが自問しなければいけない質問に導きます。あなたとご家族の織りなしているパターンはあなたの子供たちやその子供たちに神の祝福を指し示しているのでしょうか。アブラハムは彼の信仰、不幸にも罪も、そして最終的に神の祝福も伝え、引き継ぎました。もしあなたの人生の生き方があなたの後続く2,3世代の生き方の基準を設定するとしたら、あなたの生き方を何がしか変えて、キリストに従いますか。もしかしたら、あなたのイサクとの繋がりは、あなたがあなたの人生の対立の中にあることでしょうか。あなたの抱く不安やおそれ、又はあなたの周りの人との問題かもしれません。今日、砂漠で水を求めて井戸を掘らなければいけない方はいらっしやらないと思います。しかし、靈的には神があなたを靈的な井戸で祝福してくださる必要があるかもしれません。その祝福によって神のあなたの人生のための神の御計画と目的を示し、確信を与えていただく必要があります。祈りと聖書を読み、瞑想することをあきらめないよう強く勧めます。神があなたの人生でどのように祝福された見てください。そして、時間をかけて、それらのことを神に感謝してください。

しかし、イサクの最高の祝福は神との個人的な関係でした。私は、神が語りかけられ、彼らが礼拝で応答した、これらの信仰のヒーローたちと神との間で持たれた自然な会話を見る度に感嘆おくあたわざる思いです。これは実際私たちにも持つことが可能な祝福であり、この神との関係がなければ、神の祝福を直接体験することはできません。イサクが気づかなかった本当に驚くべきことは、その関係を可能とするのは彼の子孫を通してくることです。アブラハムとイサクの子孫、イエス・キリストはどの家族、どの国にとっても、祝福の道です。ヨハネの福音書 5章24節 でこう言っています。まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からのちに移っています。

私たちが経験しうる最高の祝福は永遠の命です。私たちは全員生まれながらに罪に死んでいたからです。イサクの生涯は、彼の信仰が神の受け入れと祝福の根拠であったことを示します。私たちも全く同じです。ヨハネの福音書 5章24節が先ほど語ったように、私たちはイエス・キリストと彼が私たちの罪が許されるように私たちの代わりに十字架の上で死んでくださると言う父なる神の御計画を信頼して、私たちの創造主なる神との関係を持たなければなりません。そうすれば、私たちは自分たちの人生で神の祝福を見て、実際に理解して、感謝することができるようになります。あなたは神の好意を、あなたの人生における神の祝福を望みますか。まず、イエス・キリストの信仰から始まります。たとえ神の祝福をなかなか感じられない時も、キリストを知っていれば、唯一イエス・キリストゆえに、私たちは私たちの生涯のための神の永遠の祝福の希望を確信できるのです。祈りましょう。

Generational Blessing Genesis 26:12-33

Two weeks ago as we came back to Genesis, we began to look at the life of Isaac, which will lead us to the life of Jacob, who is the main focus. In Isaac's life we get a picture of what happens when families pass on their faith from one generation to the next, but also we see that sin can be passed from one generation to the next. Today, we come to the last story in Genesis that is directly about Isaac. After this everything will really center on Jacob as Genesis continues. What we saw last week and did not deal with in depth because I wanted to wait and connect it with this passage is that God gives generational blessing to this family that was passed from Abraham down to Isaac. Our passage today is **Genesis 26:12-34**. Let's begin by reading verses 12-14 where we see evidence of this blessing appear. **¹² And Isaac sowed in that land and reaped in the same year a hundredfold. The Lord blessed him, ¹³ and the man became rich, and gained more and more until he became very wealthy. ¹⁴ He had possessions of flocks and herds and many servants, so that the Philistines envied him.** Let's pray.

Notice first how this passage opens up – **Isaac sowed in THAT land**... What land is referred to here? Earlier in verse 1 of this chapter we are told, **And Isaac went to Gerar to Abimelech king of the Philistines**. And then in verse 3, God tell him not to leave that area, but to **“sojourn in this land.”** God is telling him to live as a foreigner in a country that is not his own. Think about the status of many foreigners outside of their native countries. Many of those people live as refugees, and there is little that would be called blessed about their lives. But what we see right away with this mention of where Isaac is, is the truth that **blessing is not dependent on our circumstances**. Blessing may not always be financial, but in this case, the blessings clearly were. Now, a greater blessing is promised to Isaac than financial blessing, but the sign of God's blessing to the people around him who actually governed the land he was living in was the riches God provided for him. Notice that the Bible makes clear that this blessing comes from God. As I pointed out in the sermon on giving a few weeks ago, as believers, we need to recognize that whatever level of financial blessing that we have is from God himself. It would have been very easy for Isaac to think that he was so great as a businessman, and it was his efforts that created his wealth. But God makes sure we know that it was from God, and it was God at work setting up what happens next. God took an immigrant, a sojourner, and made him the envy of the ones in charge where he lived.

This envy leads to a confrontation. Let's read verses 15 through 22 **¹⁵ (Now the Philistines had stopped and filled with earth all the wells that his father's servants had dug in the days of Abraham his father.) ¹⁶ And Abimelech said to Isaac, “Go away from us, for you are much mightier than we.” ¹⁷ So Isaac departed from there and encamped in the Valley of Gerar and settled there. // ¹⁸ And Isaac dug again the wells of water that had been dug in the days of Abraham his father, which the Philistines had stopped after the death of Abraham. And he gave them the names that his father had given them. ¹⁹ But when Isaac's servants dug in the valley and found there a well of spring water, ²⁰ the herdsmen of Gerar quarreled with Isaac's herdsmen, saying, “The water is ours.” So he called the name of the well Esek, because they contended with him. // ²¹ Then they dug another well, and they quarreled over that also, so he called its name Sitnah. ²² And he moved from there and dug another well, and they did not quarrel over it. So he called its name Rehoboth, saying, “For now the Lord has made room for us, and we shall be fruitful in the land.”** The point of this story seems to be to show that God's blessing took place in less than ideal circumstances and in the face of conflict.

As with everything in Isaac's story, there is intentional connection to the life of his father Abraham. Just as Isaac is facing these conflicts with the Philistines, Abraham faced conflict between his shepherds and his nephew Lot in Genesis 13. [Genesis 13:6-7](#) says about Lot and Abraham that "...the land could not support both of them dwelling together; for their possessions were so great that they could not dwell together, 7 and there was strife between the herdsmen of Abram's livestock and the herdsmen of Lot's livestock..." Due to this conflict, Abraham moved and gave up the best pastureland to his selfish nephew, but God still blessed him. Isaac also had to move and dig new wells due to the local herdsman taking over the work he had done.

My response, which may be the one many of you would have had, would have been to stand my ground and fight for these wells that had undoubtedly been very difficult to dig by hand. But instead, Isaac's response to conflict is in line with that of his father Abraham's when he gave the best land to Lot. It is an Old Testament example of what Jesus talks about in the Sermon on the Mount while discussing how the people of God are to live a kingdom life that reflects their status as God's people. [Matthew 5:38-40](#) says, 38 "You have heard that it was said, 'An eye for an eye and a tooth for a tooth.' 39 But I say to you, Do not resist the one who is evil. But if anyone slaps you on the right cheek, turn to him the other also. 40 And if anyone would sue you and take your tunic, let him have your cloak as well. In God's economy, the path to blessing is to return good for evil done to you. Both father and son did that, and both were blessed by God for doing so. Have you considered that many times when we feel like the world is against us and we are not experiencing God's blessings in our lives, that it may be because we are pursuing conflict with those who attack us instead of seeking to treat them as God wants us to?

As the conflict comes to an end, Isaac has another experience that reinforces God's blessing on his life. Verses 23-25 say, [23 From there he went up to Beersheba. 24 And the Lord appeared to him the same night and said, "I am the God of Abraham your father. Fear not, for I am with you and will bless you and multiply your offspring for my servant Abraham's sake." 25 So he built an altar there and called upon the name of the Lord and pitched his tent there. And there Isaac's servants dug a well.](#) The Bible just tells us these events very straightforward, meaning that for the most part we don't see what Isaac was thinking while dealing with this conflict. We do see in his actions his faith always evident as he gives credit to God for bringing the conflict to an end. But I wonder if Isaac ever wondered while this was happening as he dug a well only to have it taken, if Isaac wondered if God's blessing still remained on his life? I know that there have been times where I have questioned if I was doing what God wanted me to do... If I was really experiencing God's blessing on what I was doing in my attempt to obey God's call. Maybe you have felt similar at times. Perhaps this was why God now personally appeared to Isaac to reassure him of his blessing by passing on the same covenant blessing he made to Abraham. I told you last week that I would come back to an earlier version of this promise that God had passed on to Isaac from Abraham. If you remember verses 3-4 here in Genesis 26 that we read last week, we originally saw this blessing given while Isaac was being told to live as a stranger in this land of the Philistines. [Genesis 26:3-4](#) says, 3 Sojourn in this land, and I will be with you and will bless you, for to you and to your offspring I will give all these lands, and I will establish the oath that I swore to Abraham your father. 4 I will multiply your offspring as the stars of heaven and

will give to your offspring all these lands. And in your offspring all the nations of the earth shall be blessed...

Many times while doing something difficult that we know God has called us to **we need the reassurance of God's blessing** in it. For Isaac, he was called to live as a foreigner in the land of the Philistines and deal with conflict with them. For us, it will be something else that is not pleasant and can cause us to question God's call and plan for our lives. God will come to us at that time and assure us of his blessing as he did for Isaac. Now, it will not be an audible voice as Isaac likely heard, but it may be the Holy Spirit speaking words of assurance to us, usually through the written Word of God. That is why staying in God's Word, meditating on Scripture is so important. God the Holy Spirit applies the Word of God to our lives in exactly the way that we need to hear it. [1 Corinthians 2:12-13](#) shows us this important truth. [“Now we have received not the spirit of the world, but the Spirit who is from God, that we might understand the things freely given us by God. 13 And we impart this in words not taught by human wisdom but taught by the Spirit, interpreting spiritual truths to those who are spiritual.”](#) How often do you need to hear the promise that God will “never leave you nor forsake you?” (Deuteronomy 31:8). And all throughout the Bible are promises and words of comfort that the Holy Spirit will use to assure you of God's blessing and purpose in your life.

And as if God's personal assurance of blessing was not enough, God causes Isaac's treatment of those who are coming against his efforts at digging wells to change their perspective. Look at the final verses in this passage, verse 26-33. [²⁶When Abimelech went to him from Gerar with Ahuzzath his adviser and Phicol the commander of his army, ²⁷Isaac said to them, “Why have you come to me, seeing that you hate me and have sent me away from you?” //²⁸They said, “We see plainly that the Lord has been with you. So we said, let there be a sworn pact between us, between you and us, and let us make a covenant with you, ²⁹that you will do us no harm, just as we have not touched you and have done to you nothing but good and have sent you away in peace. You are now the blessed of the Lord.”//³⁰So he made them a feast, and they ate and drank.³¹In the morning they rose early and exchanged oaths. And Isaac sent them on their way, and they departed from him in peace. //³²That same day Isaac's servants came and told him about the well that they had dug and said to him, “We have found water.” ³³He called it Shibah; therefore the name of the city is Beersheba to this day.](#) Isaac's response to adversity, to the difficult situation he was facing actually brought him more blessing as peace was restored with his neighbors. I don't want to give the idea that this outcome will happen in every case. God was at work here in a very specific way to make the people of the land look favorably on him. **But many times God's blessing in our lives means that we become a blessing to others.** This is what happened with Isaac. His neighbors who he had lied to about his wife, and who had taken wells from him by force that he had labored to dig came to him to ask his blessing for peace.

Then we see one final confirmation of God's blessing. As the meeting ends, servants come into Isaac and say that they have found water at one last well. Now this is again another area that is similar between Abraham and Isaac. In [Genesis 21:30-31](#), Abraham has already named the city Beersheba when he said also to king Abimelech. [“These seven ewe lambs you will take from my hand, that this may be a witness for me that I dug this well.”](#) [31](#) Therefore that place was called Beersheba, because there both of

[them swore an oath](#). The very same thing had happened with Abraham. Abimelech's servants had taken a well. There was a meeting between Abimelech and Abraham. Peace was restored and an oath was made to swear peace with each other. The meaning of Beersheba is the words 7 and oaths. The seven is clear in the Abraham account of him giving the seven lambs, but not in the Isaac account. But clearly this is meant to show God's blessing and the similarity between Abraham and Isaac's life.

This repetition between Abraham's life and Isaac's life show that patterns run for generations. And as we close this set of three sermons focusing on Isaac's life, it leads us to questions that we should be asking ourselves. Are the patterns that you are establishing in yourself and your family pointing your children and your children's children to God's blessings? Abraham passed on his faith, unfortunately his sin, but ultimately God's blessing as well. If you knew that your life set the standard for the next 2 or three generations to follow after you, would you change anything about how you live your life and follow Christ? Maybe today your connection with Isaac is that you are in that position of conflict in your life. It may be doubts and fears inside of you or problems with others around you. I doubt any of you are seeking water in the desert and needing to dig any wells today. But spiritually, maybe you need God to bless you with a well. You need God to show you his blessing in this, to reassure you of his good plan and purpose for your life. I would encourage you to not give up praying or reading and meditating on Scripture. Look for ways that God has blessed you in your life, and take the time to thank him for those things.

But the greatest blessing that Isaac had was a personal relationship with God. It is always amazing to me to see the natural conversation that took place between these heroes of the faith and God as God spoke to them and they responded in worship. This is also available to us, and without this relationship with God, we cannot directly experience his blessing. The really amazing thing that Isaac did not realize was that the one who makes that relationship possible was coming through his descendants. Jesus Christ, Abraham and Isaac's descendant, is the way to blessing for all people from any family or nation. Jesus himself says in [John 5:24 Truly, truly, I say to you, whoever hears my word and believes him who sent me has eternal life. He does not come into judgment, but has passed from death to life](#). The greatest blessing we can experience is eternal life, since all of us naturally are dead in our sins. Isaac's life shows us that it was his faith that was the foundation of God's acceptance and blessing. It is no different for us. As John 5:24 just said, we must believe in Jesus Christ and God the Father's plan for him to die on the cross in our place in order to be forgiven for our sin and have a relationship with God our creator. Then we have the ability to see and really understand and appreciate God's blessings in our lives. Do you want to have God's favor, his blessing on your life? It starts with faith in Jesus Christ. Even when we have trouble seeing God's blessing, if we know Christ, we can have a confident hope in the eternal blessing of God on our lives because of Jesus Christ and him alone. Let's pray.